

ニューラウンドフェンス門扉 NR-4G型 (ダイヤモンドフェンス門扉 NR-DY-G型)

組立説明書

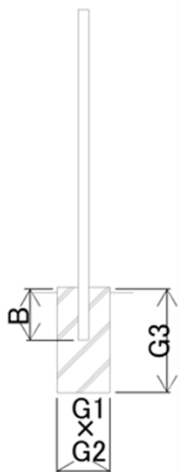
◇組立の手順は、NR-4G型およびNR-DY-G型ともに共通です。

①柱の位置を決め、基礎を設置します。

●柱間隔は柱芯々にて、片開き1035(1000)mm
両開き2000mmピッチにしてください。
※九州・四国地方は()内寸法で施工してください。

●基礎寸法及び埋め込み深さ

フェンス高さ	基礎寸法 G1×G2×G3(mm)	埋込寸法 B(mm)
H800	250×250×500	200
H900	250×250×500	200
H1000	250×250×500	200
H1200	250×250×500	250
H1500	300×300×600	250
H1800	300×300×600	300
H2000	300×300×600	300



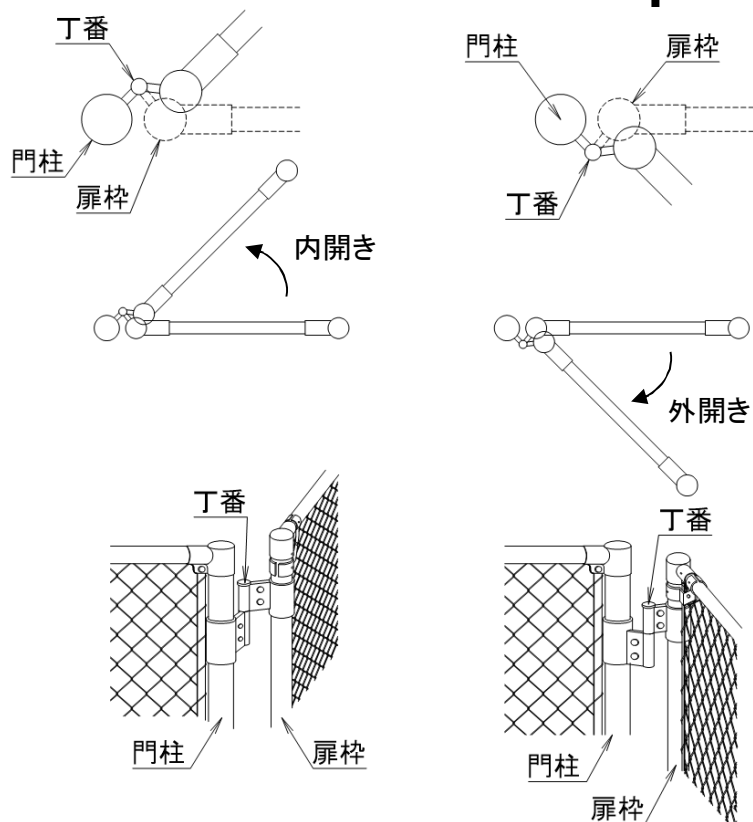
②門柱を建てます。

●片開きでは、丁番を取付ける柱(吊柱)を決めます。
→吊柱と受け側の柱の区別にご注意下さい。

●両開きでは、両方の柱が吊柱になります。

③門扉の開閉方向 (外開き、内開き)を決めます。

●門扉の開き方向によって、丁番の向きが変わります。

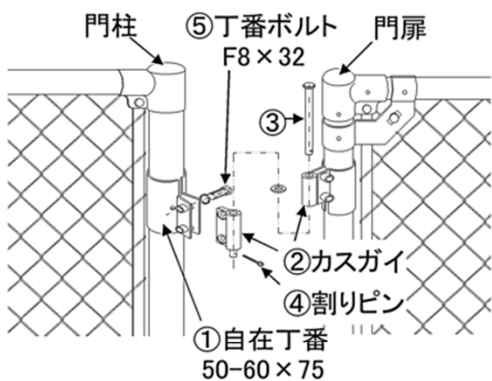


内開き

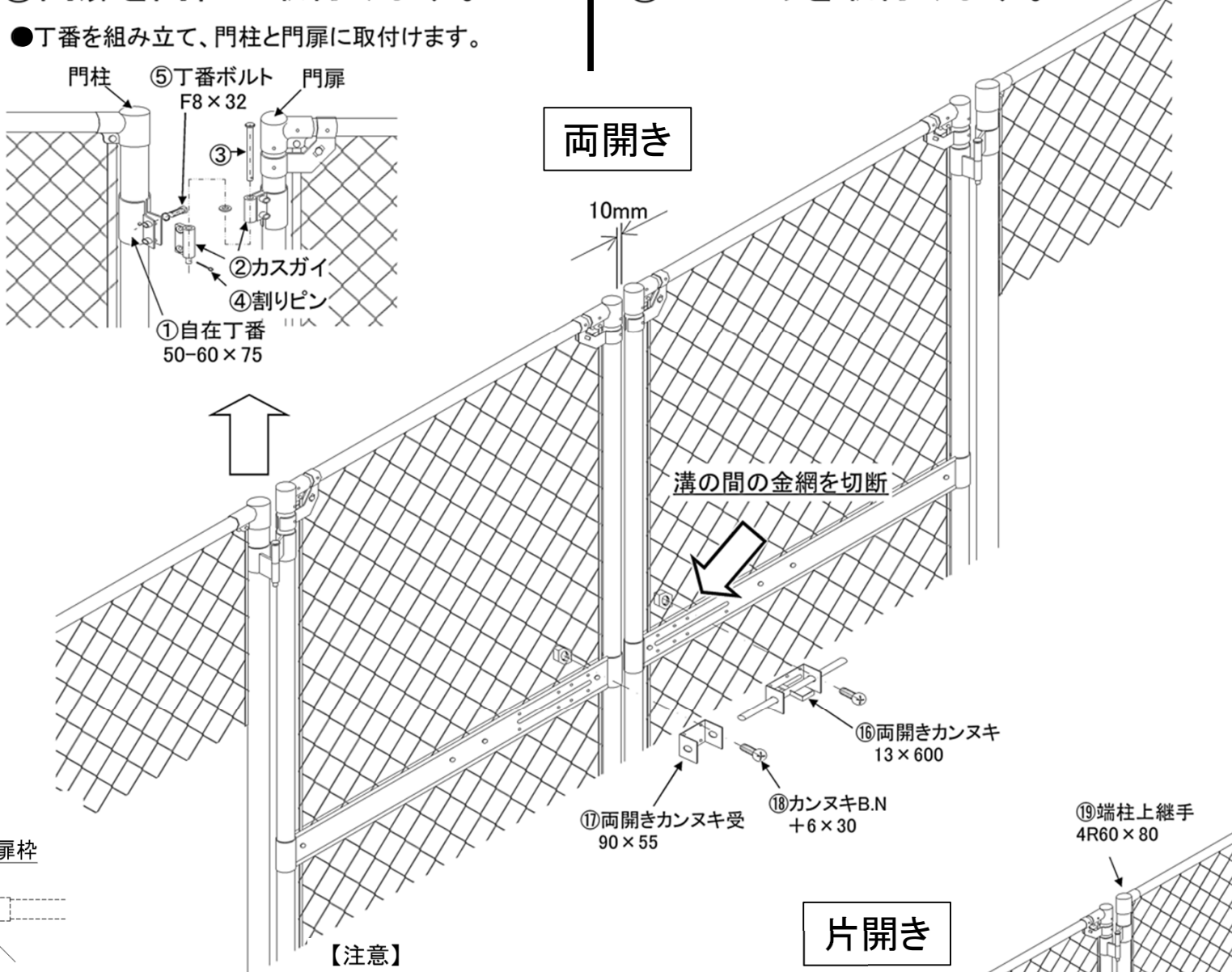
外開き

④門扉を門柱に取付けます。

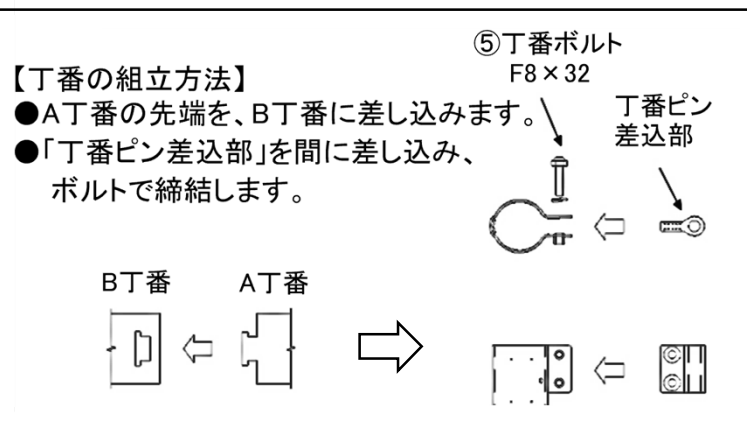
●丁番を組み立て、門柱と門扉に取付けます。



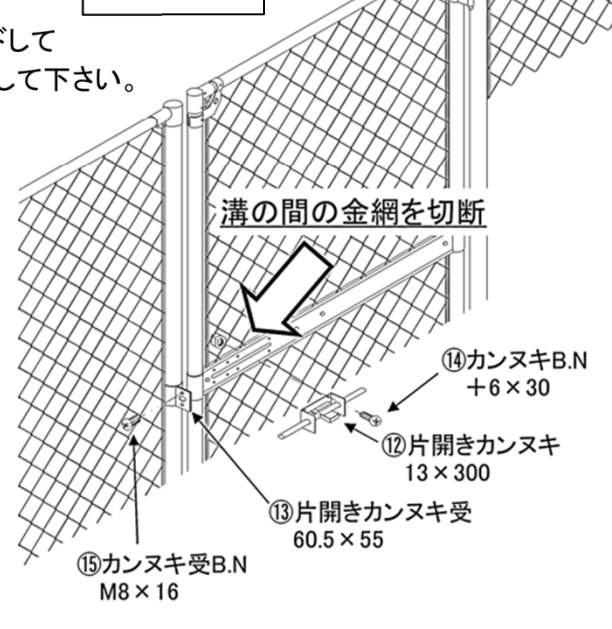
⑤カンヌキを取付けます。



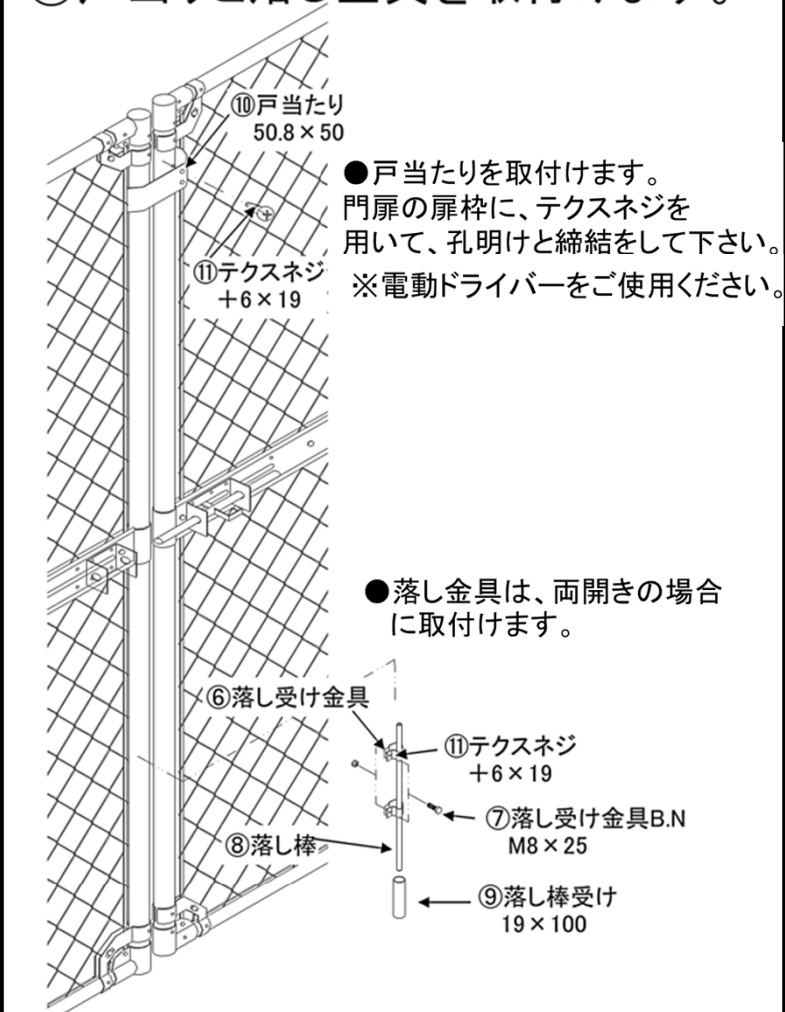
【注意】
カンヌキを取付ける際、カンヌキをスライドして動かせるように、溝の部分の金網を切断して下さい。



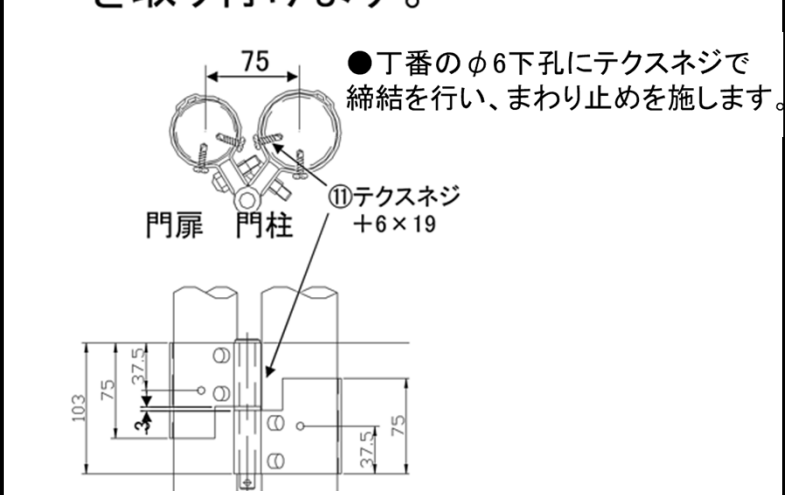
片開き



⑥戸当りと落とし金具を取付けます。



⑦丁番のまわり止めタッピングビスを取り付けます。



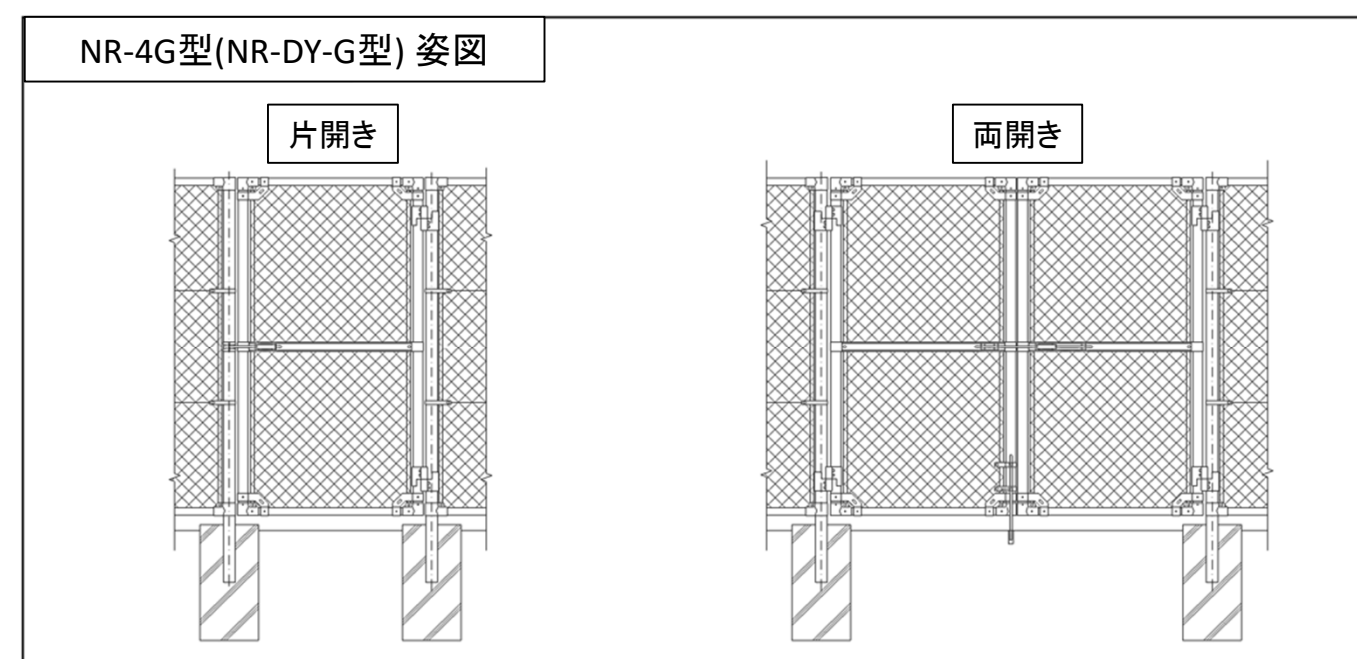
【作業上の注意点】
●施工後、門柱に取付けておきます、ビニール袋入りの「警告、注意シール」を門扉に貼り付けてください。貼り付け位は「使用上のご注意」を参照ください。また、「使用上のご注意」は施工された門扉の管理者にお渡しください。

部品数量表

ニューラウンドフェンス門扉 NR-4G型 (ダイヤモンドフェンス門扉 NR-DY-G型)

	品名	寸法・記号	形状	数量	
				片開き	両開き
門 扉 部 品	① 自在丁番	50-60×75		2	4
	② カスガイ	50×20		4	8
	③ 丁番ピン・座金	12×115		2	4
	④ 割りピン	3×20		2	4
	⑤ 丁番ボルト	F8×32(SW付)		8	16
	⑥ 落とし受け金具	50×150 ※1(50×120)		—	1
	⑦ 落とし受け金具B. N	M8×25		—	2
	⑧ 落とし棒	12×400 ※1(12×370)		—	1
	⑨ 落とし棒受け	19×100		—	1
	⑩ 戸当たり	50.8×50		—	1
	⑪ テクスネジ	+6×19		8	22
	⑫ 片開きカンヌキ	13×300		1	—
	⑬ 片開きカンヌキ受け	60.5×55		1	—
	⑭ カンヌキB. N	+6×30(SW付)		4	—
	⑮ カンヌキ受B. N	M8×16		2	—
	⑯ 両開きカンヌキ	13×600		—	1
	⑰ 両開きカンヌキ受け	90×55		—	1
	門 柱 用 部 品	⑱ 端柱上継手	4R60×80		2
⑳ 端柱下継手		4R60×80×2		2	2
㉑ ネットバーB. N		E8×32		4	4
㉒ 端柱バンド		R60×82		4	4
㉓ 端柱バンドB. N		E8×25S		4	4

※1: ()内はH800のみ適用



⚠ 注意

●施工注意点

- ①商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。又、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。
- ②基礎打設又は基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。基礎上端は地面より30 mm上げるのを標準とし、基礎上端が極度に地面より上がったり埋まったりしないようにしてください。
- ③施工現場にて部材の加工を行った場合は、必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。
- ④組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。
- ⑤塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。(スチール商品)

●取扱い注意点

- ①門扉施工完了後、工事店の方がお渡しする「使用上のご注意」に記載された事項を使用者に徹底するようお願いいたします。